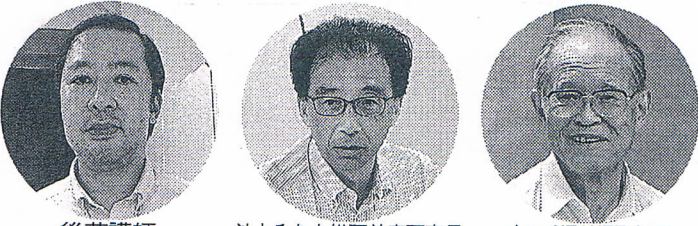


北東アジア政策懇話会 第2回研究フォーラム

8/7



後藤講師

池上みなと総研首席研究員

吉田NEANET会長

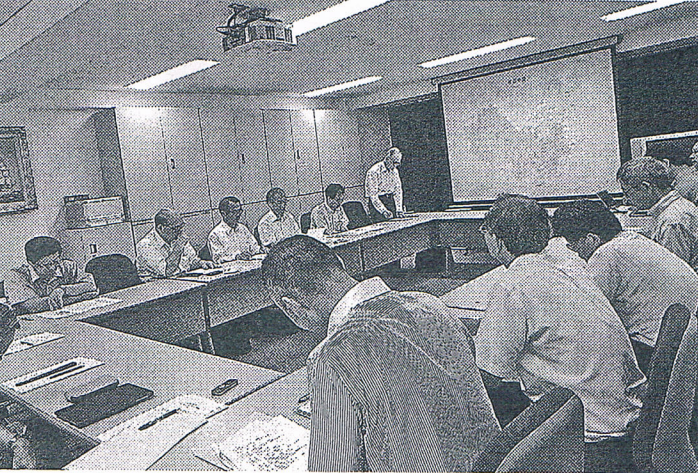
NPO北東アジア輸送回廊ネットワークNEANETと、(一財)みなと総合研究財団みなと総研は、みなと総研3F会議室で、8月7日(金)午後4時から、北東アジア政策懇話会・第2回研究フォーラムを開催した。

講演に先立ち、主催者の吉田進NPO北東アジア輸送回廊ネットワーク会長が、「今日の講師の後藤様は、日中東北開発協会に入られて15年となり、日中経済協力会議にも、創立当初から関わってきている大ベテランです。この協会には大手の企業、商社などがすべて参加しています。本日は最近の中国に関するホットなお話をお聞きできると期待しています」とあいさつをした。

さらには池上正春みなと総研首席研究員が「1998年から、再び2004年には新潟港湾空港整備事務所所長として、2回にわたり新潟に赴任しております。当時からの北東アジアの話で盛り上がりつつあることを思い出します」とあいさつをした。

進行は東山茂NEANET理事。講演に入り、後藤正博日中東北開発協会・事務局長が「2015年日中経済協

力は、平成27年7月中旬に遼寧省の瀋陽で開催された日中経済協力会議を主催した立場から、報告をした。この会議は年1回行われ、日本と中国の東北地方の行政、企業等の代表者が参加し、意見交換と、実際のビジネスを具体化してきた実績がある。合計700名の参加で、日中間の経済協力拡大を目指している会議である」と紹介。NEANET関連では、日中ハイレベル論壇で、新潟県の森邦雄副知事が登壇し、吉林省と協力して安定運航に向けて取り組んでいる、新潟港とサルビノ港などを直接結ぶフェリー航路である、「日本海横断航路」の来春開設の計画を報告したことや、黒龍江省の方から、吉田会長と今後具体的に観光事業や交流を進めたいというメッセージがあったことを報告した。また、「日本海横断航路」については関連日



第2回北東アジア政策懇話会研究フォーラムの様相

合弁会社を作るといって、7月16日に瀋陽現地で行われる関係企業間でサインが交わされ、進めていくことが決まったことも紹介した。中国のGDP推移に関し、急激に経済成長してきたが、このところ停滞が見られること、この中国の成長を阻害する要因を話し、さらに改革についても解説した。

後藤は、平成27年7月中旬に遼寧省の瀋陽で開催された日中経済協力会議を主催した立場から、報告をした。この会議は年1回行われ、日本と中国の東北地方の行政、企業等の代表者が参加し、意見交換と、実際のビジネスを具体化してきた実績がある。合計700名の参加で、日中間の経済協力拡大を目指している会議である」と紹介。NEANET関連では、日中ハイレベル論壇で、新潟県の森邦雄副知事が登壇し、吉林省と協力して安定運航に向けて取り組んでいる、新潟港とサルビノ港などを直接結ぶフェリー航路である、「日本海横断航路」の来春開設の計画を報告したことや、黒龍江省の方から、吉田会長と今後具体的に観光事業や交流を進めたいというメッセージがあったことを報告した。また、「日本海横断航路」については関連日

地方産業視察において、最近完成した新鴨緑江大橋の写真を紹介し、北朝鮮側で橋と道路の接続が遅れているという情報提供があり、完成すれば中間間で貿易が拡大する見通しと述べた。

分科会に関しては、循環経済・省エネ環境分科会では、中国でも循環経済等を進めていきたいので、日本の経験などを参考にしたいという意見があったこと、シルバー産業・関連サービス分科会では日本の介護サービス等についての発表があり、意見交換がなされたこと、会議における最新の情報を紹介した。

意見交換会を5時から行い、吉田会長から、中国東北三省進出に際しての補足説明、三橋都雄NEANET理事から日本海横断航路について、また辻久子氏など、多くの参加者の発言があり、熱心な議論が交わされた。

◆講演者略歴
1986年 新日本製鐵(現新日鐵住金)入社、主として製鉄所における鉄鋼製品の生産管理、中国の製鉄所向け鉄鋼プラント輸

出・建設プロジェクトの営業、実行管理を担当。
2000年 日中東北開発協会へ出向し、現職に至る。
◎第3回(9月25日)講演
午後5時から

製造所向け鉄鋼プラント輸
出・建設プロジェクトの営業、実行管理を担当。
2000年 日中東北開発協会へ出向し、現職に至る。
◎第3回(9月25日)講演
午後5時から

講師 田田一兵衛 明治大学 商学部准教授
演題 「ユーラシア横断中国欧州輸送回廊」
◆問い合わせ・申し込み先
・ wavenmaster@wave.o-ri.jp

Te1103-5408-8201
neanet@oboe.ocn.ne.jp
Tel103-34302-01100

8/6北陸地方整備局港湾空港部が開催 みなとまちづくりマイスター認定報告会



みなとまちづくりマイスター認定報告会

「みなとまちづくりマイスター」認定報告会 (前列中央=石井新潟みなとクラブ理事長)

北陸地方整備局港湾空港部が、8月6日(内)、北陸地方整備局港湾空港部で、7月20日(海の日)に、新潟県では2人目となる「みなとまちづくりマイスター」に認定された、石井洋司NPO法人新潟みなとクラブ理事長の認定報告会を開催した。

冒頭、田所篤博北陸地方整備局長が「多くの方にみなとまちづくりを知っていただくことが重要であり、石井理事長をはじめとする新潟みなとクラブの皆様にはこれからも様々な市民参加の仕掛けを考えていただき、当面は2019年の新潟港の開港150周年を一つの目標として、新潟のまちを盛り上げていただきたい」とあいさつをした。

石井理事長は、8月4日の「みなとまちづくりマイスター」認定証授与式及び

国土交通省本省において行われた国土交通省港湾局長賞授与式などの様子と、今後の抱負として、「これからは全国のみなどの応援団として頑張っていく、全国の取り組みを新潟に持ち帰ってきたい。また、2019年には新潟港が開港150周年を迎えることか